

# 第1回仙台市情報モラル教育推進会議

～学校と家庭がお互いの役割を意識しながら、児童生徒に対して、  
情報モラル教育を効果的に行えるような取組をより一層推進していくことの大切さを改めて確認～



5月18日（水）、平成28年度第1回「仙台市情報モラル教育推進会議」を開催しました。この会議は、「仙台市情報モラル教育推進事業」の具体的な取組内容について検討を行うために平成27年度より設置しているものです。

会議のメンバーは、教育局職員、仙台市小学校長会、中学校長会、仙台市PTA協議会の代表からなる11名の委員で構成されています。加えて3名の学識経験者の先生方をアドバイザーとして迎え（※）、専門的な見地から指導助言を受けながら事業を実施していきます。

（※アドバイザー：東北大学大学院 篠澤和久 准教授、宮城教育大学 安藤明伸 准教授、東北学院大学 稲垣忠 准教授）

## 平成28年度の取組

### 「家庭における推進検討部会（保護者3名、教育局職員8名）」

昨年度に引き続き**家庭と学校が連携**を図りながら、共通認識の下で情報モラル教育を推進していくための**リーフレットを作成・配布**し、家庭における啓発を一層推進していきます。

### 「学校における推進検討部会（学校職員20名、教育局職員4名）」

学校現場で情報モラル教育を推進するうえで参考となる**年間指導計画や実践授業の事例を作成**し、昨年度に作成した「情報モラル教育実践ガイド」に盛り込むことで、**実践ガイドの充実**を図り、情報モラル教育を一層推進していきます。

## 大越教育長あいさつ



「情報社会は日々進化しており、その流れは後戻りできない状況でもあります。児童生徒は、社会人となってからも、生涯にわたり、情報化社会の中で生きていかなければなりません。

小中学生の時期に、情報化社会で適切な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付けるために、情報モラル教育を推進することは、教育委員会として、重要かつ急務であると考えております。（一部抜粋）」